

身近なみどり整備推進事業  
優良事例集

令和2年9月

茨城県農林水産部林政課

# 目 次

(令和元年度事業)

- 1 松岡城跡の森林整備（高萩市）
- 2 諏訪神社境内の森林整備（常陸太田市）
- 3 小原地内における森林整備（笠間市）
- 4 羽鳥地区における通学路沿いの森林整備（小美玉市）
- 5 田崎団地における通学路沿いの森林整備（鉾田市）
- 6 君島地区における森林整備（阿見町）
- 7 佐久地区における通学路沿いの森林整備（石岡市）
- 8 駒羽根における通学路等道路沿いの森林整備（古河市）
- 9 真壁町下谷貝における通学道路沿いの森林整備（桜川市）

## 身近なみどり整備推進事業における事例（1）

### 松岡城跡の森林整備（高萩市）

下手綱地区内の松岡城跡は、江戸時代の初頭、戸沢政盛による竜子山城の改築と整備により、松岡城と改称された城跡です。土塁や古井戸なども残っており、歴史的に貴重な城跡ではありますが、近年、竹が繁茂することで、景観が損なわれ、イノシシの発生による被害も懸念されていました。

そこで、竹林の整理伐等を実施したことで、有害鳥獣の発生を抑制できるとともに、日当たりが良くなり、景観の回復を図ることができました。



整備前



整備後

## 身近なみどり整備推進事業における事例（2）

### 諏訪神社境内の森林整備（常陸太田市）

常陸太田市中野町にある諏訪神社は、大同2年に信州諏訪大神の御分霊を鎮斎し、宮司、氏子34戸102人により崇敬され守られてきました。

しかし、地域住民の高齢化等に伴い境内の森林の手入れが十分にできず、景観の悪化につながっていました。

そこで、境内の刈払いや間伐を実施したところ、日当たりが良くなり、森林環境の改善・景観の回復を図ることができました。



整備前



整備前



整備後



整備後

### 身近なみどり整備推進事業における事例（3）

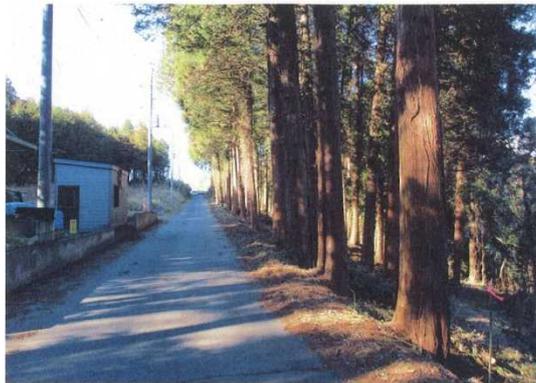
#### 小原地内における森林整備（笠間市）

小原地区の市道に隣接する森林は、管理が行き届かなく見通しも悪い状態でした。また、この市道は通学路としても使われており、安全性の確保のためにも整備が必要な状態でした。

そこで、刈払い、整理伐、枝打ちなどの森林整備を実施しました。その結果、通学路も安心して通行することが出来るようになり、鬱蒼としていた林内に陽が差し込み林内の見通しや日当たりが改善され、自然空間の改善を図ることができました。



整備前



整備後

## 身近なみどり整備推進事業における事例（4）

### 通学路沿いの森林整備（小美玉市）

羽鳥地区の羽鳥小学校児童の通学路付近の森林は、管理が行き届かない状況で、見通しも悪く夕方になると薄暗くなり危険な状態でした。そこで、整理伐や伐竹、下刈りなどを実施したことにより、明るく見通しもよくなり、通学路としての安全性・防犯の向上がとともに地域の景観の回復も図ることができました。



整備前



整備後

## 身近なみどり整備推進事業における事例（5）

### 田崎団地における通学路沿いの森林整備（銚田市）

田崎団地の森林は小学校への通学路に隣接していますが、手入れが行き届いておらず伸びた樹木によって薄暗く見通しが悪いため小学生の通学時をはじめ、地域住民の安全確保の観点から整備を望む声が上がっていました。

そこで、本事業において道路沿いの総延長約200mの森林で刈払いや整理伐、高所の枝打ちを行いました。その結果、見通しが良くなり、景観の回復を図るとともに、通学時の児童や地域住民の安全に寄与することができました。



整備前



整備後

## 身近なみどり整備推進事業における事例（6）

### 君島地区における森林整備（阿見町）

君島地区の森林は、手入れ不足から繁茂し、隣接する地域住民が生活に利用する道路の見通しも悪くなっていました。

そこで刈払いや整理伐などを実施したところ、林内が明るくなり、また道路の見通しも良くなりました。道路通行の際の安全性が高まるとともに、地域の景観の向上も図ることができました。



整備前



整備後

## 身近なみどり整備推進事業における事例（7）

### 佐久地区における通学路沿いの森林整備（石岡市）

佐久地区における八郷中学校の通学路沿いの森林は、管理が行き届かない状況で、見通しが悪く、また倒木の恐れのある木もありました。そこで整理伐や枝打ち、刈払いなどを実施したことにより、明るく見通しも良くなりました。通学路としての安全性が高まり、かつ地域の景観の回復も図ることができました。



整備前



整備後

## 身近なみどり整備推進事業における事例（8）

### 駒羽根における通学路等道路沿いの森林整備（古河市）

古河市駒羽根の通学路沿いの森林は、手入れ不足により笹・灌木類が繁茂したことで林内の見通しが悪くなった部分があり、児童・生徒の登下校時の安全確保の観点から森林整備を必要としていました。

そこで刈払いや整理伐を実施したところ、林内の見通しが良くなったことで通学路の防犯・安全性の向上が図られ、また良好な景観を回復することができました。



整備前



整備後

## 身近なみどり整備推進事業における事例（9）

### 真壁町下谷貝における通学路沿いの森林整備（桜川市）

桜川市真壁町下谷貝の通学路に面する森林は、長年手入れがされてこなかったことから、篠や灌木が繁茂し、見通しが効かず、登下校時の安全性の確保に支障をきたしていました。

そこで刈払いと整理伐を実施したところで、見通しが良くなり、通学路としての安全性が向上しました。



整備前



整備後